

「ひょうごポリシーメイキングチャレンジ事業企画運営業務」

企画提案コンペに係る質問及び回答

	質問内容	回答
1	政策提案チームの募集期間がスケジュールにないが、チームは既に決まっているのか。もしくは受託者が募集する想定か。	政策提案チームはまだ決まっておらず、企画運営をお願いする事業者様と確認の上、3月下旬～4月中旬を目途に募集の予定。
2	テーマは4分野と設定されているが、テーマ選定はチームが自由に行なってよいのか。	4分野はあくまで「基本」であり、チームによる自由な設定を想定していますが、県側から一定の方向性や分野などを提示することも検討しています。
3	チーム数について、参加人数は最大20名とのことだが、チーム数は4チームから増えてもよいのか。	募集要項に示したチーム数は、あくまでも想定・例示であり、チーム数の上限設定等は考えていません。
4	政策提案会の開催時期が10月となっているが、令和9年度の県予算化を目指す場合、いつまでに実施しなければいけないという期限はあるのか。	現段階で明確な期限設定はしていませんが、兵庫県では通常10月下旬頃から次年度の施策検討が本格化するため、それに合わせたスケジュール案を示させて頂いています。
5	定例会は月1回の実施、伴走支援は月3回の実施とのことだが、参加者全員での実施が必要か。また、チーム毎に行うものか。	定例会は対面実施を基本とし、参加者全員で行う想定です。伴走支援とは、定例会以外で必要に応じてオンライン等の手法も活用して各チームへアドバイス等の対応をいただくもので、月3回というのは一つの目安であり、実施単位も必要に応じチーム、個人単位など柔軟に対応頂きたい。
6	参加者が政策提案する上で提出が必要となる資料について規定はあるか。	具体的な規定はありません。資料としては文書としての提言書や提案会で使用されるプレゼン資料などの形式が想定されますが、具体的には事業者様と協議しながら決定していく予定です。